

# 先 駆

66・9・25  
33号

1部 10円  
25号分 400円(千共)

先 駆 社  
東京本社 東京都千代田区  
神田区河合3の2  
東京ビル内(251) 7213  
大阪支社 大阪市福島区  
洲上3の3 土真ビル内  
(458) 0235  
京都支社 京都市左京区下  
鴨宮崎町128の29  
振替 東京 64937  
編集発行人 正木 真一

すべての工場、地域、学園に  
共産主義者同盟を  
組織せよ！  
共産主義者同盟統一委員会

## お知らせ

共産主義者同盟の統一再建により  
次号(十月五日号)から、本紙は  
「戦旗」と改題します。また、編  
集局は「東京都文京区湯島」の三  
の三、加藤ビル内。TEL(03)  
三四八九。振替、東京六二〇  
番に移動します。

## 共産主義者同盟統一再建にあたって

(一)

安保闘争の敗北の中で、旧共産主義者同盟が崩壊して以来、全国的な革命指導部を欠いたまま、大衆闘争が散発的に闘われて来た。そして個々の闘いの終末と共に、その中に生じた活動家達もまた解散していった。政治的混乱、革命的階級の組織的崩壊の時代が、今もその再生を待たずして進行して来た。

(二)

われわれの道は、半世紀前、レーニンの党のソシアリズムイキを中核として、ロシア革命が引き開いた現代の途、プロレタリアートがマルクスとエンゲルスの手によって、「共産主義宣言」を全世界に公表し、登場した一筋の途であり、プロレタリアートがパリにおいて燃ゆるが如きその歴史的使命、人間解放の闘い、革命の赤い血潮によって、三色旗を掲げ、パリの町のバリケードで闘った流血の道にたがな。

## 反帝闘争をプロレ日本革命へ

### 新たな情勢に強固な主体を建設せよ

#### 共産主義者同盟統一委員会政治局

われわれは以上の立場の中で、具体的闘争の組織的にかわり、具体的な革命理論、構想、現代革命の責任の一端を明らかにし、得るべき組織的統一の第一歩を踏出したのである。

パリコミューン、ロシア、ソビエト、ドイツ、プロレタリア、スペイン、イタリア、シカゴのアメリカ、プロレタリアートなどに代表される、世界のプロレタリアートの二世紀の闘いは、抑圧からの解放、人間の解放の決意の中で支配階級の憎悪と、血の道に包圍された迂曲の道であった。

しかしながらこの深刻な事態は、一片の革命的号令、または小市民的反抗をもって解決することはできない。根本的対応は、日本労働者階級の革命的伝統に根ざし、あまたな指導者たちを育て、現実の指導の危機を、危機の時代の指導に転化する組織的追及なしに日本労働者階級の歴史的使命はあり得ない。

われわれは以上の立場の中で、具体的闘争の組織的にかわり、具体的な革命理論、構想、現代革命の責任の一端を明らかにし、得るべき組織的統一の第一歩を踏出したのである。

われわれは、闘いの教訓を結果し、創造的闘いの方向性を生み出すことが可能な組織的統一を求めた。そして、日本労働者階級を真正に指導し得る前衛建設の中心的組織としての共産主義者同盟の再建を志した。

われわれは、闘いの教訓を結果し、創造的闘いの方向性を生み出すことが可能な組織的統一を求めた。そして、日本労働者階級を真正に指導し得る前衛建設の中心的組織としての共産主義者同盟の再建を志した。

われわれは、闘いの教訓を結果し、創造的闘いの方向性を生み出すことが可能な組織的統一を求めた。そして、日本労働者階級を真正に指導し得る前衛建設の中心的組織としての共産主義者同盟の再建を志した。

われわれは、闘いの教訓を結果し、創造的闘いの方向性を生み出すことが可能な組織的統一を求めた。そして、日本労働者階級を真正に指導し得る前衛建設の中心的組織としての共産主義者同盟の再建を志した。

われわれは、闘いの教訓を結果し、創造的闘いの方向性を生み出すことが可能な組織的統一を求めた。そして、日本労働者階級を真正に指導し得る前衛建設の中心的組織としての共産主義者同盟の再建を志した。

われわれは、闘いの教訓を結果し、創造的闘いの方向性を生み出すことが可能な組織的統一を求めた。そして、日本労働者階級を真正に指導し得る前衛建設の中心的組織としての共産主義者同盟の再建を志した。

われわれは、闘いの教訓を結果し、創造的闘いの方向性を生み出すことが可能な組織的統一を求めた。そして、日本労働者階級を真正に指導し得る前衛建設の中心的組織としての共産主義者同盟の再建を志した。

われわれは、闘いの教訓を結果し、創造的闘いの方向性を生み出すことが可能な組織的統一を求めた。そして、日本労働者階級を真正に指導し得る前衛建設の中心的組織としての共産主義者同盟の再建を志した。

われわれは、闘いの教訓を結果し、創造的闘いの方向性を生み出すことが可能な組織的統一を求めた。そして、日本労働者階級を真正に指導し得る前衛建設の中心的組織としての共産主義者同盟の再建を志した。

われわれは、闘いの教訓を結果し、創造的闘いの方向性を生み出すことが可能な組織的統一を求めた。そして、日本労働者階級を真正に指導し得る前衛建設の中心的組織としての共産主義者同盟の再建を志した。

われわれは、闘いの教訓を結果し、創造的闘いの方向性を生み出すことが可能な組織的統一を求めた。そして、日本労働者階級を真正に指導し得る前衛建設の中心的組織としての共産主義者同盟の再建を志した。

われわれは、闘いの教訓を結果し、創造的闘いの方向性を生み出すことが可能な組織的統一を求めた。そして、日本労働者階級を真正に指導し得る前衛建設の中心的組織としての共産主義者同盟の再建を志した。

# 10.21 ナム反戦ストに全力を

## 日帝の加担政策全面暴露を

### 意欲なき民間を乗越え闘いの先頭に立つ

十・二二ナム反戦ストに向けて階級情勢が収約されようとしている。総評民同連・二二ストをベトナム反戦と秋闘の諸要求(全国一律最賃制、公務員上げ、炭鉱労務改善)とを組み合わせ、民間二時間以上、公務二時間といた目標を掲げ、そして各単産は私鉄や金全等の一部を除いて、十月上旬にかけてスト権の確立のために努力をしようとしている。従って十・二二ストが遂行されるか否かは、一切今後の各単産、単組の取組みにかかっている、といえる。ここに、十・二二ストに向けて全力を投入し、闘いの先頭に立つべきを、再三、全国の活動家諸君に訴える。

今回の十・二二ストの民間の提議は、明らかに次のような危険性を伴っている。それは昨年の十・二二ストと日韓闘争との関連を類似しているが、すなわち、政治闘争であるベトナム反戦と秋闘諸要求を無分別に混合し、相互もたれあいの水増し、闘争にしてしまっている。換言すれば、ベトナム反戦とベトナムの反戦意識を共有し、また経済的諸要求を漠然とした反戦闘争にすりかえ、結局のところ意味なき水増し闘争に陥る危険性がある。

このようにして、われわれが再三強調しているこのベトナム戦争の世界的階級闘争における歴史的な位置、アメリカの世界戦略とベトナムの反戦意識との関係、ベトナム人民の民族独立と解放の要求、ベトナムの社会解放の要求と、ひるがえって日本帝国主义、左翼内閣のベトナム加担とそれとを一致した独自のアジア侵略政策の現実を暴露すること、これこそ日帝の侵略の本質を露し出すことにはならない。

## 統一再建を決定

### 第3回大会開かる

去る九月八日、共産主義者同盟統一委員会第3回大会が開かれた。大会は、一年有余の統一委員会活動の歴史を振り返り、今後の事業を更に発展させて、共産主義者同盟の統一再建をすすめること、これを第一の任務とする、と決定した。

一九五八年十二月に結成された共産主義者同盟は、その第五回大会後、全国機能を喪失し、現在に至っていた。周知の通り、共産主義者同盟は安部闘争に全力を傾注した。だが最も敵意的敵闘に闘った同盟は、

このようにして、われわれが再三強調しているこのベトナム戦争の世界的階級闘争における歴史的な位置、アメリカの世界戦略とベトナムの反戦意識との関係、ベトナム人民の民族独立と解放の要求、ベトナムの社会解放の要求と、ひるがえって日本帝国主义、左翼内閣のベトナム加担とそれとを一致した独自のアジア侵略政策の現実を暴露すること、これこそ日帝の侵略の本質を露し出すことにはならない。

死の商人・ベトナム加担の現態を明らかにせよ。ここに、われわれの指導する労働、社研、あるいは、社会同の任務は明確である。十・二二ストに向けてその職場においてスト権の確立に全力を注ぐとともに、その闘いの質的強化、階級の防衛をはかるために全力を尽くさねばならない。

その上、忘れてはならないのは、われわれが一貫して提起してきたわが国における死の商人たちの実態を暴露することである。この戦術は統一の十・二二ストをより鋭く大衆的にするために不可欠のものである。一部の諸君に誤解されたこと、この戦術がベトナム闘争の反帝、反政府性を狭く経済主義にわい曲するものであるという批判は、当り前のものではない。

なせならば、第一に我々は労働者の意識を一般的にベトナム加担の政府反対におよぼすためではなく、現実、自分の工場や隣りの会場で武器や原料が生産されたり輸送されたりしている現実を

再建される組織は「反帝闘争をプロレタリア日本革命へ」、プロレタリア日本革命をアジア革命の勝利と世界革命の突破口とせよ」と宣言することによって自らに苛酷な、至難な途、コンミンユーンからの一筋の途、支配階級の憎悪と迫害の中で、果敢に

を開始し、日本ブルジョアジー、えんない。たどるべきは「生活防衛」が「企業防衛」と自然発生的に立ちあがり、その発展は、個々には自然発生的、改良的闘いである。だが、闘いに対して、ブルジョアジーの闘いは二つの転換点がある。一つは「生活防衛」が「企業防衛」に発展すること、もう一つは「企業防衛」が「生活防衛」に発展することである。十分な自己権力闘い、きわめて主体的意識的闘いとして組織されれば、

## 戦旗への発展の意義

### 「先駆」終刊にあたって

共産主義者同盟は六年間にわたる分散の時期を終え、革命の再生をなした。同盟統一委員会は、同盟統一再建という歴史的任務のなかで機関紙「戦旗」を、「戦旗」へ発展解消する本路線の一致(われわれはこれを実現段階における反帝闘争を発展させる)として、革命闘争の「水統的」展開のなかで社会主義革命を展望するものとして設定した。この綱領的認識の入口にすぎない立場を具体性を持った真の闘いの理論へと高めることを可能にする組織活動スタイルを創り上げることに二点において前進的政治組織の条件にする以外、の選択はありえない。

## 革命への意識性を

### 強力な赤色宣伝基地の確立へ

このがまず、敗北していったことを物語っている。日本における共産主義者が解散してからは、第一にこのことである。

われわれが反帝闘争の中に問題にしていこうとしているのは、このことに深く関係している。戦後民主主義体制が、その動機

課題の理論的、思想的、組織的解明を自己の責任として引き受けることを確認した。われわれは今までも努力し、闘ってきた、今も努力し闘っている。そしてこれからも努力し闘うことにはさかちあきらまはしない。

われわれはプロレタリア大衆に依拠し、彼らと共にその闘いの先頭に立つて、プロレタリア日本革命の勝利とプロレタリア世界革命のために闘い抜くであろう。

革命的インテリゲンチヤ学生諸君、共産主義者同盟に結集し、プロレタリア日本革命の準備に着手せよ、

全国の工場、職場、学園、地域に共産主義者同盟を組織せよ、

万箇のプロレタリアート万々、プロレタリア世界革命万々、プロレタリア日本革命万々、共産主義者同盟統一再建万々、

以上のごとくに基礎を築き、現在の帝国主義的諸勢力の即時的反対の力を対する闘いは、個々には自然発生的、改良的闘いである。だが、闘いに対して、ブルジョアジーの闘いは二つの転換点がある。一つは「生活防衛」が「企業防衛」に発展すること、もう一つは「企業防衛」が「生活防衛」に発展することである。十分な自己権力闘い、きわめて主体的意識的闘いとして組織されれば、

「先駆」最終号は共産主義者同盟への結果を呼びかけ、その任務を終える。再刊される機関紙「戦旗」は、今後のきびしい闘いの中で、読者諸君と共に闘い創造的発展を

大限綱領との間に断絶を置く、社共の議会主義主義との対立を包含して、われわれ主張する反帝闘争の戦闘宣言である。

「先駆」編集長 正木真一